

No. 2413

四国（石鎚山～剣山）

日 時 : 2014年5月9～11日

参 加 : 岡本 (L)、佐々木 (記)

四国の山、初めてまた共に百名山である2峰に立てるとあって楽しみにしていました。

5月9日（金）PM8時、東大阪を出発し近畿、中国、山陽、瀬戸、高松、松山の各高速道を利用し、面河ふるさとの駅（特産品開発センター）駐車場着、翌AM2時 車中仮眠。

5月10日（土） 晴れ

5時半 起床、7時開門の石鎚スカイライン入口駐車場へ向かう（4/1から11/30落石等規制）開門前には十数台が待ち状態。土小屋前の駐車場（100台）まで30分程の新緑早朝ドライブを楽しむ事ができた。

標高1500mからの人気最短コース（土小屋コース）は、まず神社へのお参りから始める事にす



る。 右手に国民宿舎を見てブナ林やヒメコマツの道を快適に登るにつれ、所々に雪渓が現れ谷間を大きく形作る。

1時間程で二の鎖小屋に到着。ここからは行場の面影を残す鎖場が続き、大きな鎖や踏み環などを越えていくのが楽しい。



(二の鎖場下)

30分程で山頂小屋着。ここから程なくして、西日本最高峰 石鎚山山頂の天狗岳(1982m)

となる。天候に恵まれ二ノ森、筒上山、瓶ヶ森、笹ヶ峰などの石鎚連峰の景観が素晴らしい。

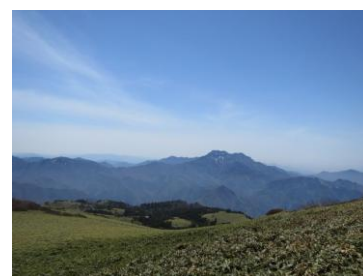


(天狗岩から石鎚山頂)

本日次ぎの山行予定 瓶ヶ森へ向かう為、団体さんパーティーなどたくさんさんの登山者が頂上目指して登ってくる中、早々に下山する。

瓶ヶ森駐車場へは車で30分程移動、早速出発するがカメラ片手のハイカーや家族連れがゆっくりと眺めを楽しんでいる。この山は敷石など山全体の石が緑色をしていて印象的である。

ゴツゴツとした岩肌絶壁を持つ男山と、より高い女山（瓶ヶ森山頂1896.5m）を巡ると、先ほどの石鎚山をくっきりと望む事ができる。眼下に広がる笹原をグルーッと一周するようヒュッテ目指して下ると駐車場は近い。



(瓶ヶ森山頂付近から石鎚山)

当所、笹ヶ峰も目指す予定でしたがスカイラインの時間規制などで時間不足、大歩危・小歩危観光後 明日の剣山周辺に移動と予定変更。しかし、ここで想定外のトラブルで再度予定変更。

山頂付近の各所道路工事で道幅が狭く、車の対向時に落石を踏みまさかのパンク！ すったもんだで無事下山するも時間オーバー、私の寝袋持参忘れや適当な宿泊地が見つからなかったりして結局(貞光ゆうゆう館 道の駅)にて車中一泊させてもらう。

5月11日（日） 晴れ後曇り

5時起床、朝食後 約1時間かけて見ノ越剣神社前駐車場へ移動。 リフト乗り場（朝9時から）や土産物屋が並ぶ立派な観光地だ。

リフト下の整備された登山道を登り、西島（リフト終点）へ。 ここからは、最短の尾根道を選んで大剣神社、剣山山頂へと計約1時間半とお手軽。

山頂周辺は、平家の馬場といわれる広い笹原である。 植生保護の為、木道が四方に敷かれ西日本2位の剣山山頂（1955m）へと案内する。 山頂の南正面にまず目を引くのが、ジロウギユウ（次郎笈）という高峰、緑一面の山頂に白く追い上げるように続く登山道が印象的だ。

帰りは、剣山頂ヒュッテ前で一服し、刀掛ノ松へ直接降りる道で下山。 行場へは残雪がある為、今の時期通行禁止（一般観光客）。 リフトが動きだしたか、観光客や家族連れが多く登ってくる。



（剣山山頂）



（剣山山頂付近からジロウギユウ）

今 流行なのか？コスプレ登山パーティーの一団も来る、ぬいぐるみ、そりゃ暑いで！

帰阪は渋滞を避ける為、早々に出発。 残念ながらまだ少し早いか、お花畑に花を見る事ができなかったが、新緑と残雪のコントラストや自然林を満喫できた山でした。

途中、思わぬパンクトラブルもありましたが、予定通り無事帰阪できました。 岡本リーダー、ありがとうございました。

<参考タイム>

5/9（金） 東大阪20時発一面河ふるさとの駅駐車場着2時（仮眠）

5/10（土） 駐車場 6:00—6:40 石鎚スカイライン入口駐車場 7:00—7:30 土小屋前駐車場 8:00—
二の鎖小屋 9:00—山頂小屋 9:35—9:45 石鎚山（天狗岳）—9:50 山頂小屋 10:00—
休憩地 11:00—11:30 駐車場 11:55 （山行動 3時間30分）

12:25 瓶ヶ森駐車場 12:30—男山 12:55—瓶ヶ森（女山） 13:05—13:45 駐車場 14:00
（20:30）貞光ゆうゆう館道の駅 （山行動 1時間15分）

5/11（日） 駐車場 5:50—7:00 見ノ越剣神社前駐車場 7:15—大剣神社 8:15—山荘 8:35—8:40
剣山山頂 9:05—10:00 駐車場 帰阪 （山行動 2時間45分）